

多賀城政庁復元整備事業に対して提出された県民意見の提出状況について

宮 城 県

標記事業を対象として行っている大規模事業評価に係る県民意見の提出状況等は、下記のとおりです。

記

- 1 意見募集期間
令和8年8月26日（水）から令和8年9月25日（金）まで
- 2 意見提出方法
県ホームページ、郵便、ファクシミリ、電子メール
- 3 関連情報の提供手法及び周知方法
 - （1）関連情報の提供手法
 - ① 県ホームページ
 - ② 県政情報センター（県庁）での公表
 - ③ 県政情報コーナー（仙台を除く各地方振興事務所及び各地方振興事務所地域事務所）での公表
 - ④ 宮城県議会図書室での公表
 - （2）周知方法
 - ① 県政だより
「県からのお知らせ」欄に掲載（7・8月号）
 - ② ラジオ
「FM 仙台(Date fm)」（9月11日放送）
 - ③ メールマガジン
宮城県メールマガジン「メルマガ・みやぎ」第1105号（9月4日）
 - ④ フェイスブック
宮城県フェイスブックに掲載（8月26日配信）
 - ⑤ X(旧 Twitter)
宮城県X(旧 Twitter)に掲載（8月26日配信）
 - ⑥ ポケットサイン
「宮城県からのお知らせ」アプリに掲載
 - ⑦ チラシ配布
県庁総合案内、県庁県政広報展示室でのチラシ配布
- 4 意見提出件数
9件（9者）
- 5 提出された意見の概要
別紙のとおり

(別紙)

	意見の概要
1	多賀城政庁復元整備事業は、宮城県の歴史・文化・観光振興の観点から極めて意義の大きい事業であり、ぜひ推進していただきたい。 政庁の復元は、県民共有の歴史資産を次世代へ継承する重要な取組であるとともに、新たな観光価値を創出し、県内周遊の促進や滞在時間の延長、地域経済の活性化にもつながるものと期待している。また、空間を実際に体感できるようにすることは、学校教育や生涯学習の場としても大きな価値があり、県民の郷土への誇りや愛着の醸成にも寄与すると考える。 多賀城創建 1300 年を経た今、当該事業を積極的に推進されることを強く望む。
2	ぜひ進めてほしい。 雰囲気が好きで、子どもとよく散歩に行くが、南門などが新たに建ってから、子どもの意識が変わった。ビジュアルは大事だと思った。さらに建物が増え、充実していくと、さらに意識が変わり、誇りに感じると思う。
3	多賀城政庁の復元・活用は日本の歴史に対する国民理解を深める上で大きな意義を持ち、全東北の古代史を体感できる全国有数の拠点を創出する取組として高く評価できる。 また、多賀城政庁が復元され、魅力が向上することで、県外や海外からの来訪者を呼び込み、県内各地域へと足を延ばすきっかけになり、その効果は県全体の観光振興や地域経済の活性化につながるものと考ええる。 事業費は 100 億円を超える大規模な投資となるが、子どもたちの歴史教育の充実、県民の郷土への誇りの醸成、交流人口の拡大、観光消費の増加など、多面的かつ長期的な効果が期待でき、将来への投資として十分な意義を有する事業である。事業の推進に当たっては、多賀城市のみならず、県内市町村、観光事業者、交通事業者、教育機関などと広く連携し、県全体への波及効果を最大化することを求める。 段階的整備の考え方は妥当であるが、第一段階については可能な限り早期に整備を進め、県民や来訪者がその価値を実感できる環境を速やかに整えられることを期待する。
4	事業には賛成である。早期実施を必ずしも求めないが、進捗状況や予定を明らかにしながら進めていただきたい。市の南門復元だけでは、観光スポットを作ってみたということにとどまり、市民が誇らしく感じている多賀城の歴史的価値が伝わりにくく、ともすれば損なわれて見えるかもしれないと考えていた。政庁が復元され、全体的に整備されることで、初めて全国の歴史ファンにどうぞお越し下さいと自信をもって言える気がする。
5	大規模事業評価について全体事業費が 150 億円以上の公共事業と 50 億円以上の施設整備が対象とのことだが、こんなにもお金がかかるなら道の駅や和のカフェを作ったほうがいいと思う。政庁周辺は、何みなさすぎて観光に来る人たちがかわいそうである。食べる所がない。 近くのコンビニも潰れているので、コンビニを復活させるなど地域住民が不便にならず住みやすくすべきだと思う。 政庁跡にもう何も作らなくていい。
6	地元住民だが、観光よりも今住んでいる人達が住みやすい環境を整備して欲しい。スケボーパークとか、一部の人しか楽しめないものより全ての住民が利用できる施設を作って欲しい。ただでさえこの辺りは車がないと買い物ができない地域なので日常生活に関わる部分を整備していただきたい。南門も最初はおお。となったが、金沢旅行に行った際、金沢城公園に行ったら南門のしょぼさが情けなくなった。本当にいらない。比較的高齢者も多い地域だろうし、子供を持つ家庭が住み良い環境作りをお願いしたい。

7	多賀城跡をよく通る。政庁跡と南門の間に道があるが、今後観光客が多くなると、歩道が狭く危険である。おそらく古代はあの道はなかったと思う。南門から政庁跡まで歩道橋があると一体感と観光客の安全から良いのではないか。
8	多賀城跡は日本を代表する古代国家形成期の重要な史跡であり、その歴史的価値は極めて高い。 多賀城政庁復元整備事業は、歴史的価値の継承、郷土教育の充実、観光振興、地域活性化及び周辺基盤整備の促進の観点から意義の大きい事業であり、本事業の着実な推進を求める。
9	多賀城政庁復元整備事業の評価に当たり、歴史文化資源の保存・継承とともに、県が掲げる広域周遊や滞在・体験型観光を実現する施策、体制、財源を示すことを求める。 また、博物館法第3条の趣旨や知的財産推進計画2026のコンテンツと地方創生、二次交通を含む受入環境整備の方針を踏まえ、県外から宮城を訪れる理由をつくり、来訪を飲食、買い物、周遊、宿泊、再訪につなげる以下の取組を求める。 ① コンテンツを通じた関心と来訪の促進 ② 登米・石巻等と結ぶ広域周遊と二次交通 ③ 飲食・宿泊・地域産業への波及 ④ 資料の保存・活用と創作を支える人材 ⑤ 県全域への展開と検証